

みちのく森の楽校だより

この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



梅、一輪、一輪ほどの温かさ

2020年 **2月号**

2月22日(土) 晴れ

春近し!

雪の降らない冬が日々遠ざかり、春がそこに来ています。公園では梅が咲き始めています。

「春は光から」と言われますが、降り注ぐ太陽の光から、季節の歩みを感じることができます。

ピザづくり

ピザづくりには生地の発酵が必要なため、気温が低すぎても高すぎてもうまくいかないのです。

これまでも、森の楽校にご参加の皆さんから、「ピザはやらないの?」と、時々、ご意見がありましたので、春を感じるこの時期に、久しぶりのピザづくり!

朝、生地を練っておき、個人個人でそれを伸ばして、お好みでトッピング。

ステンレスのお皿に置いて、お皿ごと石製のピザ釜に入れて焼くのです。

使っているこのピザ釜もお手製です。



焼きたてピザ

冒険遊び!

里山冒険遊びは、ここの木を使った、自然体験です。高く伸びたスギの木立ちにロープをかけて作ったブランコは大きくスイングします。



この大きなハンモックは、里山で伐倒したスギの丸太に、大きなネットを張ったもの。ネットが大きい分、ふわふわするのです。

里山もののづくり!

里山の面白さは、そこに生えている素材を使っての工作。

今日は、御花炭を焼いて、竹を輪切りにして、御花炭入れをつくりました。

